

中学校区におけるめざす子ども像 (確かな学び)主体的に学び、夢に向かって努力し続ける子	堺市立 英彰小学校 校長 白坂 充弘
--	-----------------------

令和7年度 重点目標 めざす子ども像 めざす学校像	心身ともに健康で 主体的に学ぶ 子どもの育成 「自ら考え、判断し、行動する子」 「英彰最高や！(えがおで いっしょうけんめい しょうじきに さいごまでねばりつよく こうじょうしんをもって やさしい 英彰の子)」 「子ども、保護者、職員が『英彰でよかった』と満足できる学校」
---------------------------------	---

確かな学びの現状 5年前より、教科研究を国語科にし、校内研修に取り組んだ。昨年度までの校内研修では、子どもたちだけでなく、教員も指導事項を明確に理解し、今までに学習した内容も振り返り、活用しながら、学びの定着とそれらを他教科で応用することのできる子どもの育成を重点的な課題として教育活動を進めてきた。今年度も引き続き同じ指導者の下、既習事項の定着と学びの蓄積を確実にしていき、他の教科にもつなげていけるよう教育活動を進めていく。	豊かな心・健やかな体の現状 昨年度の学校教育アンケートでは、いじめや決まりの質問に対して肯定的な回答が80%以上だった。肯定的な回答が多いが、さらに正しく判断し、正しく行動できるように、道徳教育の充実、生徒指導主事を中心とした児童への生徒指導・生活指導の改善を図り、豊かな心の育成に努める。 健やかな体では、危険を予測する力の向上やいろいろな運動に挑戦する力の向上が見られた。今年度も引き続き、健康な体づくりをめざした朝食や睡眠などの大切さを伝える啓発活動を重点的に行っていく。
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	達成度	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	教科 学力	教科学力の向上 読解記述力の向上	●通常授業 ●研究授業 ●主体的学習ノート ●朝の学習	国語の学習を通して、できるようになったことが増えました。 A: 肯定的回答95%以上	国語アンケート	3学期	90%	A	今年度は国語の研究授業5年目となり集大成でもあったが、各学年の系統性を見据えた授業ができ、児童の学習効果につながっている。	A	・国語力の向上につながる取り組みで、とても良いと思う。
	学びの 基礎力	児童が自分の考えを表現する力の向上	●授業で、思考の過程がわかるノートづくりに取り組んだり、意見を交流する場面を設定したりする	学習するときは、自分の考えなどをノート等に書いたり、発表したりしている。 A: 肯定的回答85%以上	学校教育アンケート	2学期末	79%	B	数値は達成できなかったが、落ち着いてノートを書き、友達と意見を交換する授業スタイルが定着している。	B	・子供のやる気につながる声掛けや、子供が主体的に学習に取り組む授業づくりを引き続きお願いしたい。 ・小学校のうちに九九を全員に習得させてほしい。 ・新しいタブレットはゲームではなく活字離れにならないような使い方をお願いしたい。
		児童が目標、目的意識をもって学ぶ力の向上	●授業の目的やめあてを児童と確認する	学習をするときは、目的やめあてを意識している。 A: 肯定的回答80%以上	学校教育アンケート	2学期末	85%	A	本時のねらいを教師・児童が共通理解して授業に取り組んでいる。	A	
		情報収集の力の向上	●普段の授業で、必要に応じて活用する。	低: 知りたいことを本やインターネットで調べることができる。 中: 本やインターネットで知りたいことを、キーワードの組み合わせを考えて、調べることができる。 高: 知りたいことをキーワードにして組み合わせたり、必要な本を選び調べることができる。 A: 肯定的回答90%以上	情報活用アンケート	2学期末	低: 86% 中: 87% 高: 79%	低学年A 中学年A 高学年B	2026年から新しくなったiPadを活用して、さらなる情報収集能力を上げていきたい。各学年の発達段階に応じ、高学年ではさらなるレベルアップをめざしたい。	A	
社会的 実践力	児童が人と繋がる力の向上	★授業で自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりする交流活動を設定する。	学習の中で自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりすることができましたか。 A: 肯定的回答90%以上	学校教育アンケート	2学期末	92%	A	「学びのコンパス」に基づく主体的な学び方への転換ができています。友達との交流を行い、協働的な学びができています。	A		
豊かな心・ 健やかな体	主体的 に活動する力	豊かな心の育成	●児童の小さな変化を見逃さず、「学校いじめ防止基本方針」に基づいたいじめの未然指導・早期発見に努め、組織的に対応する。 ●道徳教育の充実	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思おう。 A: 肯定的回答95%以上	学校教育アンケート	2学期末	96%	A	肯定的な回答ではなかった児童を重点的に見守り、導き、指導し、100%をめざしたい。	A	・「学校では、安心して過ごすことができる」環境づくりに重点を置いてもらいたい。
		児童が安心して過ごすことができる環境をつくること	●決まりを守って行動する大切さを意識した仲間づくり ●子どもが楽しく思えるような学級、学年づくりを行う。そのために、子ども理解と支援を担任だけでなく、担任と連携して取り組む。 ●子どもが相談できる機会や環境づくりを行う。	学校の決まりを守っているか A: 肯定的回答90%以上 学校では、安心して過ごすことができる。 A: 肯定的回答90%以上	学校教育アンケート 学校教育アンケート	2学期末 2学期末	90% 87%	A B	なぜ決まりがあるかということが理解できる子を育てたい。 どの子にも居場所のある教室、答えを間違えても受け入れられる授業、友達のことを思い合える仲間づくりを引き続き行っていく。	B	
		児童が危険を予測する力の向上	●児童が自分の身を守るために必要な基本的事柄を避難訓練や防災教育等で身に付けさせる。 ●安全な生活を送るために、けがの防止に努める。	災害が起きた時に身を守る方法を知っておいた方がよいと思う。 避難の仕方がわかっている。 A: 肯定的回答98%以上	学校教育アンケート	2学期末	98%	A	各種訓練に地域の方や保護者の力添えをいただき、毎回真剣に取り組むことができています。	A	
	健康な 体づくり	児童が自身を自己管理ができる	★生活見直し習慣や教科に関連した食に関する指導を通して、自らの食生活や睡眠について考える力を育成する。	・朝ごはんを食べることは大切だと思う。 A: 肯定的回答98%以上 ・睡眠は大切だと思う。 A: 肯定的回答98%以上	学校教育アンケート	2学期末	96%	B	学年だよりや保健だより等を通して、保護者の意識も高めていきたい。	B	・協働意識の向上をお願いしたい。
		いろいろな運動に挑戦する力の向上	●「小学校体育指導の手引き」を積極的に活用し、体育の楽しさを実感できる授業に努める。	運動が少しでもできるようになりたいと思う。 A: 肯定的回答95%以上	学校教育アンケート	2学期末	95%	A	行事だけでなく、普段の体育の授業においても、意欲的に取り組んでいる。	A	
地域 協働	開かれた 学校	家庭・地域に開かれた学校づくりの推進 ●学校の取り組みや児童の様子	学校は、教育方針や教育内容を、手紙やホームページ、及び懇談会等で分かりやすく伝えていますか？ A: 肯定的回答90%以上	保護者アンケート	2学期末	90%	A	保護者からの要望を前向きに検討し、子供たちがよりよい学校生活を送ることができるよう改善を重ねたい。	A	・保護者とのコミュニケーション向上につながるので続けてほしい。	

校長より(年度末) 「確かな学び」の面では、学習の基盤となる資質・能力の一つである「言語能力」や「情報活用能力」の育成に国語科を中心に力を入れてきた。国語科での学びに児童たち自身が手ごたえを感じている様子が窺えることは、嬉しく思う。 「豊かな心・健やかな体」の面では、ほとんどの児童が「学校では安心して過ごすこと」ができていたが、一部否定的な回答があることを見逃さない。すべての児童が安心して過ごすことができる理想の学校を目指し、子ども・保護者・職員が「英彰でよかった」と思えるように次年度以降も取り組みたい。 本年度も本校を支えていただいた地域の皆様へ感謝申し上げます。	学校関係者評価者から(年度末) ・素直な心で「ありがとう」が言える子に育ててほしい。 ・学習面でも様々な体験(防災教育、芸術活動など)を通して子供たちを育てていきたい。 ・この先の格差社会を乗り越える力を少しでもつけさせたい。 ・いつもありがとうございます。
---	---